

高砂南ソーシャルネットワーク・ポリシーについて

目的

1. 個人情報の重要性、肖像権・プライバシー権について学ぶ
2. ネットトラブルを未然に防ぐために、具体的な対策を知る

(1) 個人情報について

基本4情報(氏名、住所、性別、生年月日)や顔写真、出身校だけでなく、個人の生活や行動など個人を識別・特定できる情報を個人情報といいます。また他人に知られたいくない個人の秘密や行動を『プライバシー』といい、個人の秘密や行動を勝手に公開されるのを拒む『プライバシー権』があります。例えば街中で友人や先生を見かけても、本人の許可なくネットに投稿しては絶対にいけません。投稿したことで、投稿された本人の生活・行動範囲などが不特定多数の人に知られてしまいます。投稿された本人に精神的苦痛を与えるだけでなく、投稿者自身が訴えられる可能性もあります。

(2) 他者への誹謗・中傷・名誉毀損について

友人や先生、または在學校や進学先の學校に対する一方的な不平・不満、誹謗・中傷、暴言・罵倒は名誉毀損に該当する可能性があります。仮に名前や団体名を出していなくても、過去の投稿内容や日常での発言などから個人や団体を特定できる場合も同じく名誉毀損に該当する可能性があります。名誉毀損にならなくても、相手がそれを不快と感じれば、精神的損害を理由とする問題となり得ます。

(3) 肖像権について

自身の顔や姿などを、勝手に他者に撮影・公表されるのを拒む権利のことを肖像権といいます。そのため写真や動画を投稿する際、自己・他者の映り込み等の問題がないことを確認してから投稿してください。また高砂南高校ではホームページに行事や部活の様子を写真で掲載しています。生徒の皆さんがホームページに載っている可能性があります。写っている生徒には担任・顧問・担当の先生からホームページに投稿することの許可を得て載せています。「写っている写真を掲載してほしくない」と考えている生徒はすぐに担任の先生に申し出てください。

(4) 将来のために

将来の就職活動の際、企業はTwitterやFacebookなど様々なSNSアカウントを検索し過去の皆さんの投稿をチェック・収集します。過去に起こしたトラブル・SNS上での発言や投稿内容は皆さんの人間性を判断する情報となります。どんなに就職採用試験で頑張っても、ネット上でトラブルを起こしていたり、マナーをわきまえていなかったりする人物は、社会人として信用されず、不採用・内定取り消しとなる可能性があります。

具体的な対策

- ・LINEやTwitter等のDM(ダイレクトメッセージ)でもスクリーンショットや口頭で拡散される可能性があるためSNS上に他者の悪口や行動を書かない。
- ・写真や動画を投稿する際、写っている人たち全員にInstagram等に投稿すると使用用途を説明し許可を得て投稿する。また写真や動画に位置情報が残っていると、調べられてストーカーや嫌がらせの被害に遭う可能性があるため、カメラ機能を使用するときは設定から位置情報をOFFにしておく。過去に投稿した写真・動画等にも位置情報が残っていても、設定から位置情報を一斉に削除できるので活用する。
- ・SNS上で不適切な写真・動画の投稿や他者への誹謗・中傷等を投稿している人物に絡まれても個人で対応せずに保護者、警察、学校等に相談する。一人で悩みを抱え込まない。